

三重県型農政ビジョンの確立と 農業振興施策の積極的な推進

館 直人 議員
(新政みえ/三重郡選出)

問

三重県の農業は、兼業農家で支えられている構造であり、また高齢化が進むなど問題は山積しています。

三重県の農政を考えるには、担い手農家はもちろんのこと、兼業農家のあり方など複合的施策が重要だと考えます。

自主・自立が求められる分権時代の三重県型農政の施策を積極的に推進・展開すべきと考えますがいかがでしょうか。

答

農家の大部分を兼業農家が占めるといった本県農業の特性をふまえ、県民を主役、農業者をパートナーとして捉え、県民に価値あるサービスを提供する農業者を担い手として位置づけ、地産地消など、多様な支援に取り組んでいます。

今後とも、三重県らしい元気な農業を実現していきたいと考えています。

その他の質問事項
○地域産業振興施策

と中小・零細企業への支援 ほか



生活環境の保全

野田 勇喜雄 議員
(自民・無所属議員団/尾鷲市・北牟婁郡選出)

問

尾鷲市の中川周辺の住民は、数年来悪臭に悩まされています。

現在悪臭の原因の魚のあら処理工場が休止し、我慢できる程度ですが、ダムの底には悪臭の原因がたまっています。悪臭元の撤去を市から事業者申し入れしましたが、返事はありません。

悪臭対策には市だけではなく、県や関係機関が連携して取り組んでいく必要があると考えますがいかがでしょうか。



答

県はかねてより事業者への立入調査を行い、適正に処理をするよう指導しています。

また、廃棄物処理法に基づき施設の改善命令を行いました。今後はダム湖の堆積物についても調査を行い、事業者の対応状況もふまえ、問題解決に向けて市や関係機関と連携して取り組みます。

その他の質問事項
○水産振興の取り組み

ほか

過疎地域の取り組み強化を

前田 剛志 議員
(新政みえ/津市選出)

問

過疎化が進行し、限界集落に陥っている集落が三重県内にも数十カ所あると聞いています。

地域が低迷から過疎、過疎から限界集落、さらに消滅へ推移する前に早急な対策が必要です。

本県でも限界集落の実態把握を行い、市町・住民との共通認識を持ち、集落別の地域力の向上や地域資源管理への対策を、早急に実施すべきと考えますがいかがですか。

答

過疎地域における集落、獣害、森林の荒廃、空家の増加などが発生していることを把握しています。

県では三重県ふるさと振興協議会と連携し、総務省と勉強会を開催するなど、実態について情報共有を進め、過疎対策の評価と今後の課題と方向性を検討する研究会を設置します。

その他の質問事項
○高齢者対策の充実を



地産地消

村林 聡 議員
(自民・無所属議員団/度会郡選出)

問

三重の人が三重の魚を食べることで「漁業者の利益が増え、消費者は安く買える」といった地産地消ネットワークの充実など、これまでにない取り組みを漁業者自らの努力で行うには、知識・財力に限界があります。

漁業の厳しい現状を打破するには、外からの新しい知恵や視点を入れるため、産官学が一体となったプロジェクトなどが有効だと思いましたがいかがですか。



答

県民の県産食材に対するニーズが高まり、漁協による産直市の開催などが行われています。

漁業関係者や流通事業者の取り組みを促進するため、学識者や流通関係者等で構成する「地産地消ネットワークみえ」を核として連携を図り、県内産の水産物が一層地域で提供される環境づくりを進めます。

その他の質問事項
○獣害対策

ほか